

長岡京市国土強靱化地域計画（案）の概要

はじめに

■ 計画策定の趣旨

国土強靱化基本法の趣旨等を踏まえ、市民、府、国、事業者等とともに、大規模自然災害等から速やかに復旧・復興ができる強い安心・安全なまちづくりを進めるための指針となる計画を策定する。

■ 計画期間 5年間

第1章 基本的な考え方

■ 基本目標

- ① 人命の保護が最大限に図られること
- ② 市内の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
- ③ 市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化に資すること
- ④ 迅速な復旧復興に資すること

■ 計画を推進する上での基本的な方針（13事項）

第2章 長岡京市の地域特性等

■ 地勢・成り立ち ■ 都市構造 ■ 気象 ■ 人口

第3章 脆弱性評価

■ 想定するリスク

- 地震（南海トラフ地震及び直下型地震）
- 豪雨等による土砂災害・風水害等及びこれらに起因する二次災害

■ 起きてはならない最悪の事態

国土強靱化基本計画で設定された最悪の事態を基本としつつ、合計29の「起きてはならない最悪の事態」を設定して脆弱性を評価

第4章 国土強靱化の推進方針

以下の分野ごとに、取り組むべき施策と数値目標を明示

[個別施策分野]

- (1) 行政機能／消防等 防災拠点施設等の耐震化；応援・受援体制の強化
- (2) 住宅・都市／環境 住宅・学校施設・ライフラインの耐震化；被災者の生活対策
- (3) 保健医療・福祉 医療・福祉施設の耐震化；特別な配慮が必要な人への支援
- (4) エネルギー エネルギー供給の多様化
- (5) 情報通信 災害危険情報の収集・伝達体制の確立；市民への通信手段の確保
- (6) 産業構造 企業の防災力強化・維持；ライフライン施設の整備
- (7) 農林水産 農地・農業用施設の防災対策；森林の整備・保存
- (8) 交通・物流 道路等の整備・耐震化；交通基盤、輸送機関の災害対応力の強化
- (9) 国土保全／国土利用 総合的な治水・土砂災害対策；緊急避難場所・避難所の整備等
- (10) 伝統・文化の保全 文化財の保護・保全及び防火対策；文化財建造物等の耐震化

[横断的分野]

- (1) リスクコミュニケーション 自主防災組織の活動促進；市民に対する防災教育・訓練
- (2) 老朽化対策 安心・安全に係る社会資本の適正な維持・更新

第5章 計画の推進

■ 計画の進捗管理 ■ 施策の重点化